

## 令和6年度 第2回天王寺区教育会議 次第

日時：令和7年2月14日(金)18:30～

場所：天王寺区役所 講堂

### ○天王寺区の教育に関する取組についてご説明

### ○意見交換

- ・天王寺区の教育に関する取組について
- ・令和6年度第1回 天王寺区教育会議で聴取したご意見について
- ・天王寺区教育会議の在り方について

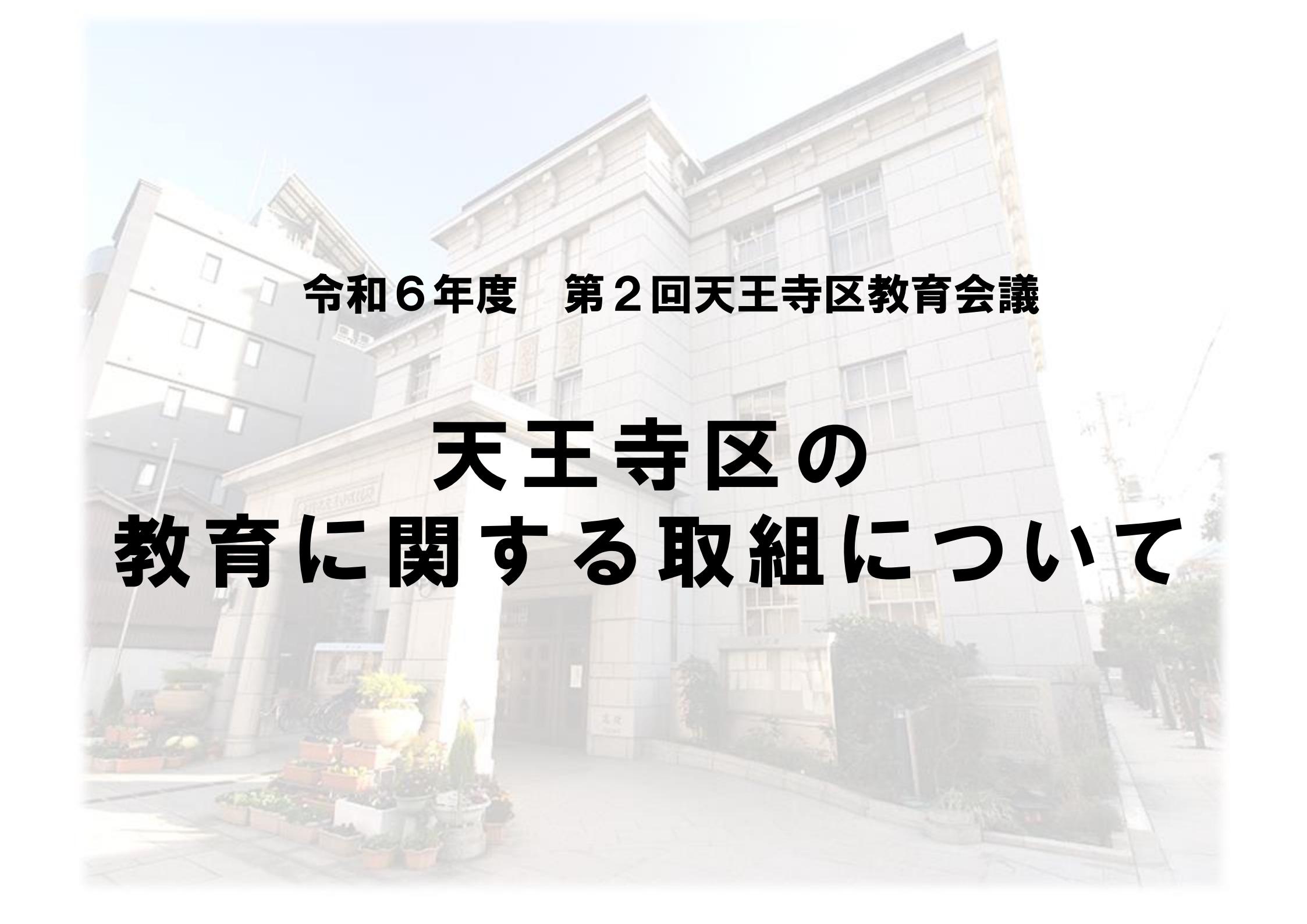
### 【配付資料】

- ・天王寺区教育会議委員名簿（令和7年2月1日現在）〔裏面〕
- ・天王寺区の教育に関する取組について
- ・令和6年度第1回 天王寺区教育会議で聴取したご意見について（机上配付）
- ・天王寺区教育会議の概要（机上配付）

## 天王寺区教育会議委員名簿

令和7年2月1日現在

学校名等	氏名	所属団体・役職等	選定日（1期目）	備考
天王寺中学校	米川 明	同校学校協議会（同校PTA会長）	令和6年8月1日	
夕陽丘中学校	井澤 尚弘	同校学校協議会（同校PTA会長）	令和6年8月1日	
高津中学校	芳山 智子	同校学校協議会（同校元PTA会長）	令和4年8月1日	再任
真田山小学校	西川 佳人	同校学校協議会（同校PTA会長・はぐくみコーディネーター）	令和6年8月1日	
味原小学校	宮里 拓実	同校学校協議会（同校PTA会長・はぐくみコーディネーター）	令和5年8月1日	再任
桃陽小学校	谷向 真人	同校学校協議会（同校PTA会長・はぐくみコーディネーター）	令和5年8月1日	
五条小学校	田原 裕之	同校学校協議会（同校PTA会長・はぐくみコーディネーター）	令和5年8月1日	再任
聖和小学校	高岡 勇	同校学校協議会（同校PTA会長・はぐくみコーディネーター）	令和4年11月1日	再任
大江小学校	三山 真司	同校学校協議会（同校PTA会長・はぐくみコーディネーター）	令和6年8月1日	
生魂小学校	新發田 恵司	同校学校協議会（同校前PTA会長・はぐくみコーディネーター）	令和3年8月1日	再任
天王寺小学校	鳥山 真吾	同校学校協議会（同校PTA会長・はぐくみコーディネーター）	令和6年8月1日	
五条幼稚園	西島 泰彦	同園学校協議会（同園PTA会長）	令和6年8月1日	
真田山幼稚園	友田 明人	同園学校協議会（同園PTA会長）	令和6年8月1日	
味原幼稚園	鈴木 貴大	同園学校協議会（同園PTA会長）	令和6年8月1日	
大江幼稚園	小寺 貴雄	同園学校協議会（同園PTA会長）	令和6年8月1日	
生魂幼稚園	木戸脇 綾子	同園学校協議会（同園PTA会計）	令和6年8月1日	
区政会議 子育て・教育班	池田 健太	区青少年指導員連絡協議会	令和5年12月11日	
	大野 加寿子	真田山地域活動協議会	令和3年12月21日	再任
	岡崎 富彦	公募委員	令和3年12月21日	再任
	栗谷 信之	天王寺連合地域活動協議会	令和5年12月11日	
	佐藤 和代	味原地域総括会	令和5年12月11日	
	平嶋 正	公募委員	令和5年12月11日	
	平田 重子	区母と子の共励会	令和3年12月21日	再任
	山田 英樹	公募委員	令和5年12月11日	
	吉田 有香	聖和まちづくり協議会	令和5年12月11日	



令和6年度 第2回天王寺区教育会議

天王寺区の  
教育に関する取組について

## 天王寺区の教育に関する取組について

### （1）学校教育の支援（学力・教育環境向上の取組）

- ① 校長経営戦略支援予算（区担当教育次長執行枠）
- ② こどもサポートネット事業
- ③ スクールカウンセラー事業
- ④ 学校図書館の活用
- ⑤ 校園等における外国語サポート導入による支援

### （2）社会教育関連の取組

- ① 天王寺区「小学生多文化理解事業」
- ② 天王寺区ジュニアクラブ事業
- ③ こどもの居場所等における学び・生活サポート事業
- ④ 民間事業者を活用した中学生学習支援事業
- ⑤ 防災教育の取組

## 校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠) (6年度予算 290万円 (5年度 290万円))

### 1 目的

分権型教育行政を施策面でも推進するため、平成28年(2016年)度から区長(区担当教育次長)が事業を企画・立案して執行できる「校長経営戦略支援予算(区担当教育次長執行枠)」を設け、学校のニーズを踏まえた施策を各区で実施する

### 2 実施概要(当区の取組)

学校が掲げる教育目標の中から区が重視する施策分野において、学校連携による取組を行うことのほか、各学校が自校の特色・課題を反映させた取組を実施する。

#### ○ 6年度の取組

##### ➢ 学校連携による人材育成事業【学校連携】

- ・天王寺区小学校体験交流会(5年生)

区内8小学校の5年生児童を対象に、各中学校区別に天王寺動物園にて開催

##### ➢ 外部指導者等招聘事業(授業・部活動への外部講師の招聘)

- ・プロ奏者による吹奏楽指導(高津中、6・7・1月)
- ・外部講師による日本文化体験(夕陽丘中 9月)

##### ➢ 学校教育環境向上事業(ICT教育の充実、学力・体力向上等環境整備)

- ・大型テレビの購入(真田山小、味原小、天王寺小)、体力向上用品の購入(桃陽小、生魂小)
- ・学力向上用品の購入(聖和小、大江小)

##### ➢ 中学校キャリア教育の支援事業(学校への外部講師の招聘)

- ・これまで区役所で実施してきたインターンシップ先やテンサポ(天王寺区サポート制度)登録事業者より、学校が行う職業講話の講師を派遣(天王寺中 6月)

### 3 目標・達成状況

- ・目標:学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる教育会議委員 80%以上
- ・実績:5年度 94% 4年度 100%

### 4 次年度以降の考え方

今後も学校ニーズを把握しながら、学校の特色づくりや課題解決に向けた取組を実施し、教育活動を支援していく



**こどもサポートネット事業** (教育委員会事務局、こども青少年局事業) (6年度予算 968万円 (5年度 849万円))

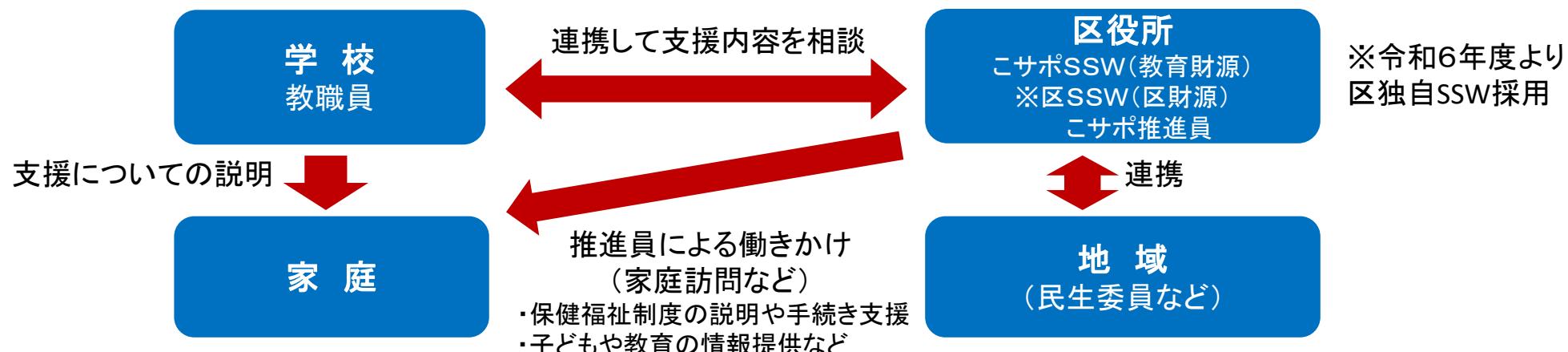
**1 目的**

課題を抱えた子どもや子育て世帯を小・中学校において発見し、学校と区役所が連携して教育的な支援、保健福祉の支援制度や地域資源等の適切な支援につなぎ、子どもと子育て世帯を社会全体で総合的に支援する

**2 実施概要**

子どもたちの学校生活の様子を通して、学校とスクールソーシャルワーカー(SSW)や保健福祉分野の支援をよく知る区役所職員(こどもサポート推進員)が連携して話し合い、その児童生徒や世帯が利用できる制度を紹介したり、手続きの手伝いを行う

**【こどもサポートネットの流れ】**



**3 支援実績等 [12月末現在]**

- ・学校と区役所との会議、ケース数 11校28回、110件 (5年度 11校35回、76件)

**4 学校からの主な意見**

- ・学校と区役所との会議実施により、担任がひとりで抱え込むことなく支援を行うことができた。活用できる福祉制度を知ったことで福祉サービスの利用を学校から提案することもできた。
- ・こどもサポート推進員の定期的な家庭訪問などを通じて面談してもらえることで、子どもや保護者の安定にもつながり助かっている。

**5 次年度以降の方向性**

SSW (計3名)を中心、ヤングケアラーを含め手厚い支援を行う。またこどもサポート推進員による学校訪問を増やす中で、学校との会議を定期的に開催し、地域や関係機関と連携し、子どもやその世帯が抱える課題・問題の解決に向け適切な支援につなげる。

## スクールカウンセラー事業 (こども青少年局事業) (6年度予算 1,696万円 (5年度 1,641万円))

### 1 目的

いじめ・不登校等の子どもの問題行動等の未然防止や早期発見、早期解決

### 2 実施概要

小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、地域内の幼児から高校生までの本人・保護者等へのカウンセリングを行う

### 3 スクールカウンセラーについて

業務内容：不登校・いじめ等における心理に係る専門的知識・経験に基づく相談業務

勤務時間：午前10時～午後4時45分（6時間）（年間35週） 相談時間：1回1時間以内

申込方法：中学校保護者・生徒は当該中学校に、他の学校園の保護者・児童は在籍学校園を通じて校下中学校に申込み  
(学校園を経由した申込みを希望しない場合は教育相談窓口へ電話することもできる)

### 4 相談実績等

相談回数 5年度 相談回数 1,502件

4年度 相談回数 1,286件

➤ 配置状況：天王寺中（火曜、水曜）、天王寺小（金曜）、聖和小（火曜）、大江小（木曜）  
夕陽丘中（月曜、木曜）、五条小（火曜）、生魂小（水曜）、桃陽小（金曜）  
高津中（火曜、木曜）、味原小（木曜）、真田山小（火曜）

### 5 学校からの主な意見

- ・カウンセリング及び空き時間は教室を回って児童の様子を見てもらっている
- ・保護者にもカウンセリングを受けてもらっている。カウンセリング後の教員への状況報告も丁寧にしてくれている

### 6 次年度以降の方向性

- ・学校における活用状況を把握しながら、引き続き実施していく。

## 学校図書館の活用 (教育委員会事務局事業) (6年度予算(24区) 3億1,298万円(5年度予算(24区) 2億7,394万円))

### 1 目的

児童生徒の読書意欲の醸成、読書習慣の確立のため児童生徒の読書活動を推進する魅力ある学校図書館づくりを行い、子どもたちが主体的に、より身近に本に親しむことをめざす。授業をはじめ、教育活動において学校図書館を一層活用することで、子どもの言語能力をはじめ学力向上を実現する。

### 2 実施概要

学校図書館補助員を配置し(平成27年10月～)、学校図書館の開館回数の増及び魅力ある学校図書館づくりを行う  
令和4年4月～学校図書館補助員にかえて「学校司書」「主幹学校司書」を配置

### 3 学校司書について

職務内容：1人あたり2～3校を担当し、学校図書館の開館、貸出業務、環境整備等を行う  
(コーディネーター(中央図書館勤務)が適宜学校を巡回)

勤務時間：学校司書1日6時間(各校週1～2日)、主幹学校司書(1校専任週4日)

### 4 当区の状況について

#### (1) 学校図書館貸出冊数(児童生徒1人当たりの年間貸出冊数)

小学校：29.0冊(5年度) 31.5冊(4年度)、中学校：2.5冊(5年度) 2.8冊(4年度)

#### (2) 「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して、「週に1回程度、または、それ以上行った」又は「月に数回程度行った」と回答する学級担任の割合【本市調査大阪市小学校学力経年調査】(調査は小学校のみ)

小学校：73.6%(5年度) 69.6%(4年度)

#### (3) 主幹学校司書・学校司書配置 ※当区は主幹学校司書を桃陽小学校に配置、5名の学校司書が交代で10校に勤務している 主幹学校司書(桃陽小(月)～木)

学校司書①(真田山小(木)(金)・高津中(火))、学校司書②(味原小(木)・天王寺中(金))、

学校司書③(五条小(火)(金))、学校司書④(聖和小(木)・生魂小(火)・夕陽丘中(水))、学校司書⑤(大江小(火)・天王寺小(木))

#### (4) 活動事例

季節やテーマに合わせた展示の実施、読み聞かせの実施、蔵書管理の電算化など

### 5 次年度以降の方向性

コーディネーターと連携を深め、主幹学校司書及び学校司書を中心に、児童生徒がより図書に親しめる学校図書館づくりをすすめる



## 校園等における外国語サポーター導入による支援 (6年度新規事業 予算 90万円)

### 1 目的

区内の市立保育所・幼稚園・小学校・中学校等において、外国語による対応が必要な未就学児・児童・生徒及びその保護者への対応における言語面の支援による校園等の教育環境の向上

### 2 実施概要

外国語による意思疎通が可能な有償ボランティアによる以下の支援

- ・外国語による対応が必要な未就学児・児童・生徒の保護者への相談対応
- ・外国語による対応が必要な未就学児・児童・生徒の授業中、保育中における言語面支援

### 3 サポーター派遣状況等[12月末現在]

(1) 大江幼稚園	のべ2名派遣、2回開催
(2) 五条幼稚園	のべ10名派遣、10回開催
(3) 生魂幼稚園	のべ1名派遣、1回開催
(4) 味原幼稚園	のべ3名派遣、3回開催
(5) 真田山幼稚園	のべ3名派遣、3回開催
(6) 天王寺小学校	のべ11名派遣、11回開催
(7) 大江小学校	のべ23名派遣、23回開催
(8) 聖和小学校	のべ6名派遣、6回開催
(9) 五条小学校	のべ40名派遣、40回開催
(10) 生魂小学校	のべ5名派遣、5回開催
(11) 桃陽小学校	のべ11名派遣、11回開催
(12) 味原小学校	のべ7名派遣、7回開催
(13) 真田山小学校	のべ23名派遣、23回開催
(14) 天王寺中学校	のべ1名派遣、1回開催
(15) 夕陽丘中学校	のべ30名派遣、30回開催

### 4 今後の方向性

外国語による対応が必要な未就学児・児童・生徒の編入状況を注視し、対応を検討していく。

### 外国人にルーツを持つ方々の「通訳ボランティア」(有償)を募集します☆

あなたの語学力を  
学校や幼稚園などで  
活かしませんか?  
現在、天王寺区内の学校園では、新たに来日した外国人にルーツをもつ子どもたちが増えています。彼らの中には、日本語を十分理解できないために孤立してしまったり、さらには役所や学校園等の担当者と保護者においてのコミュニケーションがうまくいかず、日常的なお困りごとの解決が遅れてしまうといったことが、少なくありません。外国人・日本語ができる方は、通訳として活動してみませんか?特に中国語のニーズが高いので、中国語ができる方のご応募をお待ちしております。

条件: 外国語(特に中国語)・日本語ができる方。  
18歳以上(高校生不可)で、園児・児童・生徒・保護者との  
通訳に意欲的に関わっていただける方



活動場所: 天王寺区内の学校園及び天王寺区役所等

活動日・時間: 月曜日～金曜日 (学校園の行事等)

活動時間: 各回1～2時間程度 (回数や時間についてはご相談ください)

報酬等: 活動1時間あたり1,100円 交通費支給 (区が保険に加入します)

申込方法: 「外国語サポーター登録申請書兼口座振替申出書」により  
お申し込みください

※ 活動場所・時間についてはご登録後に相談します。この申し込みは、活動を確約するものではありませんので、ご了承ください。

お問い合わせ先: 〒543-8501 大阪市天王寺区真法院町20番33号  
3階33番窓口 天王寺区役所市民協働課(教育文化)  
電話: 06-6774-9743  
EMAIL: ti0017@city.osaka.lg.jp

## 天王寺区「小学生多文化理解事業」【対象:小学生】(6年度予算 14万円 (5年度 19万円))

### 1 目的

来日された各国の方を講師に招き、外国の遊びや簡単なあいさつなどの会話を通じて交流を楽しみながら、多文化理解を深める機会を提供

### 2 実施概要 (今年度実施分)

対 象: 天王寺小学校 4年生 (30人×3クラス)

聖和小学校 2年生 (30人×3クラス)

生魂小学校 3年生 (20人×2クラス)

生魂小学校 5年生 (25人×2クラス)

場 所: 各学級の教室、講堂

日 程: 天王寺小 (4年生) 10月18日(金) 9:45~12:30

聖和小 (2年生) 10月17日(木) 9:40~12:20

生魂小 (3年生) 10月22日(火) 9:40~11:25

生魂小 (5年生) 10月 8日(火) 9:40~11:25



### 3 目標・達成状況

・目標: 参加児童へのアンケートにおいて肯定的な回答(満足度)の割合 70%以上

・実績: 【令和6年度・3校で実施】2年生: 98%、3年生: 97%、4年生: 98%、5年生: 100%

「日本の文化と違うから、楽しさがわいてくる」「先生の体験談を話してもらってすごく楽しかった」

【令和5年度・2校で実施】3年生: 100%、4年生: 98%、5年生: 97%

【令和4年度・1校で実施】3年生: 100%、5年生: 96%



### 4 次年度以降の方向性

さらに多くの小学校で実施できるよう、今年度の実施状況を各校と共有し、学習機会の増加に努める。

### 天王寺区ジュニアクラブ事業 【対象:小学4年生～高校生】(6年度予算 27万円 (5年度 24万円))

#### 1 目的

「やさしく思いやりのある青少年の健全育成」とともに「将来の地域活動を担う人材の育成」をめざして、平成19年度より実施

#### 2 実施概要

学校・地域との協働により、地域行事へのボランティア参加や施設見学・体験を行う。(年5回程度)

[6年度の取組] 天王寺の歴史にふれよう！～豊臣秀吉と天王寺～	令和6年5月19日(日)	参加者 60人
天王寺ミオのバックヤード探検ツアーと写真で学ぼう天王寺区の今昔	8月22日(木)	参加者 36人
防災学習をしよう！～自分の命を守るために～	10月27日(日)	衆議院選挙投開票日のため中止
番外編活動：はーとふるフェスタでボランティアスタッフをしよう！	11月23日(土)	参加者 11人
クリスマスフェスタでボランティア活動をしよう！	12月14日(土)	参加者 31人
いろんな国の遊びを楽しもう！～留学生と国際交流～	令和7年2月2日(日)	参加者 39人
[6年度会員] 153人 (内訳: 小学生102人、中学生33人、高校生18人)	(6年度新規会員54人・5年度新規会員26人)	



#### 3 参加者の主な意見

自分がまだ知らない天王寺の歴史を知りたい／木でできたお寺の建物の造りに興味をもった／これからも文化を守る日本が初めて参加した万博や、日本の街を知ることができた／街の未来について誰かと想像することが新鮮だった

#### 4 目標・達成状況

・目標：活動の趣旨(ボランティア等)が理解できた 70%以上 ・実績：87% (5年度: 89% 4年度: 100%)

#### 5 次年度以降の方向性

・引き続き子どもたちの意見を今後の活動内容に反映し、未来の地域の担い手となるような主体性をもった子どもたちを育む。  
・事業や運営への参画手法について検討を始めるとともに、支援者の体制強化の一環として関係者に幅広く情報提供を行う。  
(今年度は現役PTAの方々に情報提供開始)

**こどもの居場所等における学び・生活サポート事業** 【対象:小・中学生】(6年度予算 109万円 (5年度 109万円))

**1 目的**

民間事業者や学校等と連携し、支援を要する子どもの学力向上と精神面の支援を行う「こどもの居場所」での学習支援・生活相談を行うサポーターの活動を支援する

**2 実施概要**

- ・居場所における「学び・生活サポーター」の派遣 (上限895時間 1,100円/時間)
- ・「学び・生活サポーター」は、子どもの学習指導・精神面の支援に知識・経験のある者 (大学生、教員・塾講師等経験者など)

**3 区内こどもの居場所等におけるサポーター派遣状況等[12月末現在]**

6年度 (5年度)

(1)� 啓林館わくわく学習教室 (大道4丁目)	月2回不定期開催17:00~18:30	派遣なし	(派遣なし)
(2)学習塾Sien (大道3丁目)	月曜・水曜 16:00~17:50	のべ13名13回	(のべ23名23回)
(3)寺子屋teller (下寺町2丁目)	月曜・水曜 16:00~17:50	のべ18名9回	(のべ22名11回)
(4)あじあーと (小橋町)	日曜 13:00~17:00	のべ25名19回	(派遣なし)
(5)みんなで学ぶ教室 (堂ヶ芝2丁目)	水曜・土曜 18:00~20:00	派遣なし	(派遣なし)
(6)ともいき子ども塾 (上本町5丁目)	第3月曜 16:00~18:30	派遣なし	(派遣なし)
(7)みんなの居場所アジハラベース (味原町)	毎週土曜日 14:00~16:00	のべ12名12回	(のべ22名22回)
(8)あっちゃんこども会 (味原町)	第1日曜 13:00~15:00	のべ22名22回	(のべ12名12回)
(9)聖和こども学習会 (勝山2丁目)	月1回第1土曜中心14:30~16:30	のべ8名8回	(のべ9名9回)
(10)無料塾こみや (小宮町)	金曜 16:00~18:00	派遣なし	(派遣なし)
(11)こどもひろば (上本町8丁目)	月曜 18:00~20:00	派遣なし	(派遣なし)
(12)夕陽丘中学校 (小宮町)	月曜・水曜 14:30~16:30	のべ16名16回	(のべ48名48回)
(13)味原小学校 (味原町)	火~金曜 14:30~15:30	のべ3名3回	(のべ84名66回)
(14)聖和小学校 (寺田町1丁目)	水曜 14:30~15:30	のべ22名22回	(のべ35名35回)
(15)桃陽小学校 (堂ヶ芝1丁目)	火~金曜 14:30~15:30	のべ28名28回	(のべ20名20回)
(16)生魂小学校 (上汐4丁目)	火曜 15:00~17:00	のべ9名9回	(派遣なし)

**4 参加者の主な意見**

答え合わせをして具体的に問題の解き方を教えてくれた／教え方が分かりやすかった／話を聞いてもらい共感してもらえた

**5 目標・達成状況**

- ・目標：サポートを受けて改善した(勉強が分かるようになった等) 70%以上 ・実績：勉強が分かるようになった 82%、話を聞いてもらってよかった 100%  
(4年度 勉強が分かるようになった 100%、話を聞いてもらってよかった 100%)

**6 次年度以降の方向性**

民間が設置する居場所の周知とともに開設場所や学習支援等を行う事業者の連携を積極的に進め、支援を必要とする子どもの状況に応じた居場所での支援につなげる。



[聖和こども学習会]



[ともいき子ども塾]



[無料塾こみや]

## 民間事業者を活用した小・中学生学習支援事業 【対象: 小学5・6年生、中学生】(6年度予算 4万円 (5年度 11万円))

### 1 目的

- ・小学5・6年生・中学生の基礎学力の向上・学習習慣の形成を図るため、各区で民間事業者を活用した課外学習を実施
- ・当区は「Z会グループによる天王寺塾」として、天王寺区民センターと天王寺区子ども・子育てプラザを会場に開講

### 2 実施概要 (実施事業者: (株)エデュケーションナルネットワーク (Z会グループ))

対象: 区内在住の小学5・6年生 (令和6年度より実施) ・中学生  
(※習い事・塾代助成カード使用可 (令和6年10月よりいずれも所得制限なし))

場所: 夕陽丘教室 (区民センター) 月・木 小学生5・6年生 17:30～18:30  
中学生 19:00～21:00  
味原教室 (子ども・子育てプラザ) 火・金 中学生 18:30～20:30

回数: 週2回 小学5・6年生(30分×2コマ/日)、中学生(50分間×2コマ/1日)

授業内容: 講師1名対生徒5名以下の少人数指導

受講生ごとの習熟度に合わせた教材を使用

学習計画表をもとに講師と二人三脚で学習

自習スペース・自主学習のための貸出教材あり

受講料: 小学5・6年生 月5,000円 中学生 月10,000円

(12月末現在) 参加生徒: 30人 (小学5・6年 12人、中学生 18人 (夕陽丘教室 12人、味原教室 6人))

[授業の様子]



### 3 参加者の主な意見

- ・学校で習ってないところを教えてくれるから学校ですらすらとわかる。・算数の予習ができるようになった。
- ・算数がわかるようになった。・数学・英語で分からぬところを考えられるようになった。・勉強の教え方がうまくてわかりやすい。
- ・わからないところを深堀してくれたおかげで、数学では苦手な証明、英語では文法の順番などを覚えられた

### 4 目標・達成状況

- ・目標: 参加前より学校の授業がわかるようになった 70%以上
- ・実績[12月末現在]: 100% (6年度 97%、5年度 93%)

### 5 当区の考え方

必要とする生徒が受講できるよう、学校と連携し事業の周知を行う。

## 防災教育の取組

### 1 各校の防災教育の取組への協力

学校が実施する児童生徒を対象にした防災教育に協力

(取組内容) 防災クイズ、紙皿・紙スリッパづくり、備蓄物資の紹介、防災講話（中学生対象）など

○ 6年度の取組（12月末時点）

天王寺小（9月20日 出前講座）

聖和小（10月19日 防災CAMP）

五条小（11月10日 校庭キャンプ）

味原小（10月19日 防災フェスタ）

天王寺中（11月29日 出前講座）

夕陽丘中（11月20日 出前講座）

高津中（3月7日 出前講座）

#### 【未開催】

大江小・生魂小・桃陽小・真田山小



[中学生向け防災学習動画]



[防災学習(高津中学校)]

※小・中学生向けの動画教材を作成の上、区YouTubeチャンネルに掲載し、コロナ禍における防災教育の充実を図る

### 2 地域での防災の取組への協力

- ・地域の防災関係行事（子ども向け行事）：味原防災フェスタ（10月19日開催） 聖和防災ふえすた（10月27日開催）
- ・その他、各地域で実施する防災訓練

## 令和6年度第1回天王寺区教育会議でのご意見

日 時：令和6年9月27日（金）19時00分～20時10分

場 所：天王寺区役所 講堂

出席者：[学校協議会]

井澤委員（夕陽丘中）、西川委員（真田山小）、鳥山委員（天王寺小）、

友田委員（真田山幼）、鈴木委員（味原幼）

[区政会議子育て・教育班]

大野委員、岡崎委員、栗谷委員、平嶋委員、平田委員、山田委員、吉田委員

[学校]山西校長（桃陽小）、神田校長（夕陽丘中）、厚地園長（真田山幼）

[区役所]末村区担当教育次長、丸谷区教育担当部長、原田区教育担当課長、

寺戸区教育担当課長、近藤区教育担当課長代理、草川区教育担当課長代理

傍聴者、報道関係者：なし

### 【学校教育の支援（学力・教育環境向上の取組）について】

#### 校長経営戦略支援予算

- ・区小学生交流会等により、学校を超えた交流が盛んになっている。継続してもらいたい。

#### こどもサポートネット・スクールカウンセラ一事業

- ・子どもサポートネット事業では地域とどのように連携しているのか。
- ・不登校の問題について、一人ひとりに応じた居場所を考えていく必要がある。
- ・区独自のSSW採用に伴い相談数が増えるのでは。まだ見つけられていない案件があるので、SSW増員で相談環境が充実したと思う。
- ・いじめや不登校、SNSトラブルなど子ども達を取り巻く問題が多いので、SCの拡充や、生徒がSNSの使い方を学ぶ機会を与えてほしい。

→支援が必要な子どもについて民生委員が情報を得た場合、SSWに情報共有することや、SSWから民生委員の方などにたいして、情報共有を働きかける体制をととのえている。

→大阪市では、中学校の不登校割合は全国平均より高く、課題と認識している。SNSトラブルは社会問題化しており、ご意見を各校園に周知してまいりたい。

⇒豊かな地域社会の形成のために、全区役所と連携協定を締結しているレッドハリケーンズ大阪は、他区役所において市立学校園においてスマート教室を実施したと聞いている。こういった好事例を共有する機会を得たので、当区でもSNSリテラシー等について学習できる機会を提供できるように、区内校園長に周知したところである。次年度に向けて各学校園で取り組みを実施できるように調整してまいりたい。

### 学校図書館の活用

- ・学校図書館の貸出数が減少しているが、どのように捉えているか。
- ・もともと学校図書館の予算規模は大きく、さらに増加しているが、もっと深刻なところの予算に活用することはできないのか。
- ・学校図書館活用の予算だけ他と比較して予算が多いのは何故か。

→家庭内ではタブレットを活用して読書活動を行っている児童生徒もいると聞いている。

→学校図書館の予算は24区分を掲載しており、大部分が配置しているスタッフの費用となっている。

### 校園等における外国語サポーター導入による支援

- ・海外転入者が増加しているなか、外国語サポーターのニーズはますます高まると考える。
- ・外国語サポーターについて、この派遣状況で足りているのか。
- ・海外出身の方と意思疎通するのは難しい。都度、外国語サポーターを派遣することが難しいのであれば、保護者の方に集まっていたり、保護者向け講座を行ってはどうか。

→学校の先生はスマートフォンの翻訳アプリで対応している状況で、実際のところは足りていないと認識している。保護者のニーズに応じた外国語サポーターの派遣も実施しているが、市教委と連携を図りながら対応を進めてまいりたい。

⇒市教育委員会事務局（以下「市教委」）では、増加する初期日本語指導が必要な児童生徒の支援や教員の負担を軽減するため、令和7年度より新たに学習者用端末に機械翻訳を導入するための予算に加え、学習者用端末全台の機種更新予算を確保したと聞いている。人的支援の拡充は難しい見込みではあるが、引き続き市教委と情報共有のうえ、連携を図ってまいりたい。

## 【社会教育関連の取組について】

### 小学生多文化理解事業

- ・多文化理解事業について、実施校にはばらつきがあるので、平等な教育のためにも、全校で実施すべき。
- ・多文化理解事業について、引き続き多くの小学校で実施してほしい。

→毎年丁寧に学校と連携・調整し、1校ずつ実施校を増やしている。将来的には区内全校で実施できるように取り組んでまいりたい。

### 天王寺区ジュニアクラブ事業

- ・ジュニアクラブは良い取組だと思うが、対象が小学校4年生から高校生と年齢の幅が広い。年齢に合わせて実施テーマを変えているのか。学年に応じた実施テーマにできれば、中高生の参加者も増えるのではないか。

→学年別のテーマで実施はしていないが、会員が次世代の担い手として、主体的に行動できるよう働きかけていく。

### 子どもの居場所等における学び・生活サポート事業

#### 民間事業者を活用した中学生学習支援事業

- ・子どもの居場所について、実態があまり分からず。もっと周知をしていてはどうか。
- ・生活支援より学習支援がメインになっているのではないか。生活支援が必要な子どもにも注意を向けるべき。
- ・民間事業者を活用した小・中学生学習支援事業について、定員により、事業を活用出来ないことはあるのか。

→身近に学校以外の居場所があるということを知ってもらうべく、リーフレットを学校で配付している。学習支援を切り口に生活支援を行っている事例が多いと認識している。今後も情報周知に取り組んでいく。

→定員による募集制限はある。

### 防災教育の取組

- ・防災教育について実施校にはばらつきがあるので、平等な教育のためにも全校で実施すべき。
- ・防災教育について、ある地域では、地域と学校が別々の日に防災に関する取組をしている。防災意識を高めるためには、同日開催が必要ではないか。

→いただいたご意見を、担当部署、学校及び地域に周知してまいりたい。

## 【その他の意見】

- ・近年の子どもには、達成感を学べていないと感じる。

天王寺かぶらを種から栽培するなど、子どもに感動を与える教育を推進してほしい。

- ・子どもの体力向上に取り組んでほしい。

真田山小学校では、児童数が多く、休み時間に全員が運動場で遊ぶことができない。

一方で近くの真田山公園でも、人数が多く、思い切り遊べるスペースはない。

区としても、サポートしてほしい。

⇒天王寺区の小中学校では運動場の狭隘化が課題となっているが、一部地域において真田山公園を利用するなど、独自に課題解決に取り組んでいる学校もある。市教委には、狭い運動場でも児童生徒が興味関心をもって取り組めるような工夫を講じている学校の好事例を共有するような取組を求めており、引き続き各学校において限られた運動場を有効活用できるように依頼してまいりたい。

- ・運動場について、近年は熱中症予防の観点から、気温が高い日は使用できない。

一方で、小学校の体育館は空調が無く、体育館でも運動が出来ない状況である。

⇒市教委では、令和7から9年度の3年間で大阪市内全小学校の体育館に空調設備を整えると公表しているため、区役所としては市教委の状況を注視してまいりたい。

- ・中学校の部活について、自分が希望する部が無いことが多い。

区として、サポートー推進に取り組むなど、取り組んでほしい。

⇒市立中学校における部活動指導員の人材確保及び充実については、市教委が「大阪市立中学校部活動支援人材バンク」を設置し、教員の働き方改革推進及び負担軽減に取り組んでいる。部活動指導員の令和7年度予算は拡充されると聞いているが、区内各中学校の個々の部活別ニーズと登録者の希望とのマッチングが難しい点が課題と聞いている。市教委には、各中学校の実態に応じ、部活動を維持しつつ負担軽減につながる施策となるように依頼していく。

## 天王寺区教育会議の概要

### 設置根拠

天王寺区教育会議は、「天王寺区教育会議開催要綱」(平成27年7月1日制定)に基づき設置。

### 目的

- ・立案段階から保護者や地域住民の意見を把握し、教育行政に反映。
- ・教育の実績や成果の評価に関する意見を聴取。

### 開始時期

平成27年度から

### 開催回数

年2回(9月・2月)開催。

### 委員

- ・区内の学校・園の保護者(幼稚園保護者は令和6年度より参加)
- ・区政委員(子育て・教育班)。

### 意見聴取内容

- ・教育委員会事務局天王寺区担当教育次長が所管する教育振興に係る施策や事業に関する計画・方針について。
- ・区所管施策等の実績や成果の評価について。